

厳しすぎるコロナ対策から一転、全てがなかったことに...イギリス、極端すぎない？

7/15 ニュースウイーク

＜英政府のコロナ対策を「反省」する調査が行われているが、もはや医師や看護師までみんなノーマスク＞

イギリスでは今まさに、これまでの英政府の新型コロナウイルス対策を検証する公的調査が行われている最中だ。もう少しましな備えをするべきだったのではないかとわれわれは何を間違えてしまったのか？ どんな教訓を学ぶことができるのだろうか？【コリン・ジョイス（フリージャーナリスト）】



僕がなぜこの話題を持ち出すかという、ごく単純な教訓の数々を、それを学んでしかるべき最も適切な人々、しかも学ぶべき最も強い動機を持つ人々でさえ、こんなにも学んでいないということが、僕にはまるで理解できないからだ。つまり、NHS（国民保健サービス）のことなのだ。

家系的な心配もあり、僕は毎年精密な眼科検査を受けている。今年の検査では、医師がマスクもフェイスガードもなしに約20分、僕の顔からほんの数センチの近さに顔を寄せていた。空気感染のことを考えないにしたって、この状況はひどく決まりの悪いものだった。僕は目をつぶりたくなかったし（眼科検査だから無理）、息を我慢しなきゃと思った（もちろん無理）。

その医師はその日、僕の他にも立て続けに大勢の患者を診察していた。待合室では（笑えることに）隣と2メートル離れて座ってくださいと指示書きが張ってあるのに、患者は誰一人としてマスクをつけてとは言われなかった。まるでコロナなど存在していなかったか

のように全ての規制を取りやめてしまうその論理を、僕は理解できない。検査に使う機器のところにプラスチック板のガードを据え付けることくらい、簡単にできるはずなのに.....。

救急隊員や医師や看護師たちは、たとえコロナ重症化リスクの高い患者を扱う場合でも、もはや日常的にマスクをしていない。マスク着用は確か、基本的な予防策だったはずでは？

<まるで「マインドトリック」>

同様に、コロナ危機さなかには極端すぎる対策が取られていたことも理解できない。たとえば僕は、地元のクリニックに予約を入れて、コロナウイルス感染の症状もなかったというのに（僕はロックダウンのルールに律儀に従っていたから実質的に潜伏期である可能性もゼロだった）、クリニックに入らせてもらえなかったりした。来院の直前にPCR検査を受けていないからという理由で、医師は駐車場で（ごく短時間）診てくれただけ。当時、僕は放っておくと深刻化しかねないつらい症状を抱えていて、その後に慢性化してしまった。もっと早くにきちんと診断を受けられていたら事態は違っていたんじゃないかと、あれ以来何度も考えてしまう。

<「世界で最も危険」だったはずが>

ある友人は、この状態を「ジェダイ・マインドトリック」（スター・ウォーズのジェダイがマインドトリックを使って他人の意志をねじ曲げ、都合のいいように操ること）に例えている。

コロナウイルスは世界で最も危険なものだ！ それを止めるためにはいかなる犠牲を払っても考えられ得る全ての策を取らねばならない。そして突如としてこうなる——コロナやその他の空気感染ウイルスは、心配するほどのものではない。

マスクなしでスーパーを埋め尽くす「買い物テロ」に当局が「医療従事者への侮辱」と激怒 2021年4月2日ニューズウィーク

<ようやくロックダウンの緩和にたどりついたイギリスで、マスク反対派がマスクなしで集団ショッピングという新手法の抗議>



イギリス南東部のエセックス郡で、大手スーパーでマスク反対の「集団買い物テロ」があり、批判を浴びている。

メトロ紙によれば、このグループはマスク着用義務に抗議するため連れ立って、大手スーパー「Tesco」を訪れた。イングランドでは11歳未満の子どもと特定の疾患がある人を除き、買い物の際のマスク着用が法律で義務づけられているが、グループの複数のメンバーは後に警察に対して、自分たちはマスク着用を「免除されている」と主張したという。

ソーシャルメディアに投稿された抗議の動画には、マスクをしていない女性たちが集団で店内を歩きまわったり、大っぴらにお喋りをしたりする様子が映っている。

背後でマスクをしているのは働く従業員たちだ。

これは医療関係者の努力に唾する行為だと、イギリスが誇る公的医療サービス、NHS の関係団体のスタッフはツイッターに投稿した。「人々の安全を守るため命を危険にさらして働いてきた全ての NHS スタッフに対する侮辱行為だ」「マスクなしの買い物を集団で行うのは愚かなだけでなく違法行為だ」

抗議活動の「ビラ」もあった

ほかのユーザーからも恐怖や失望を表すコメントが相次いだ。あるユーザーは、「これはスーパーで働く人々への侮辱でもある。不愉快だ」と書き込んだ。別の人物は、「公共安全のために、このスーパーは2週間の隔離措置を取るべきだ!」とコメントした。

コメントの中には、抗議活動のビラとみられるものの写真もあった。問題のグループが事前に店舗に集合する計画していたことと、マスク着用義務に抗議する意図があったことを裏づける写真だ

メトロ紙の記事は、この行動を非難するチェルムスフォード市議会報道官のコメントを引用した。「チェルムスフォードの住民たちはこの1年間、根気よくさまざまな制限に耐えてきた。今になって、自己中心的な少数の人々による裏切りに遭ういわれはない」

テスコも、マスク反対の買い物集団への失望を表明した。「パンデミックの当初から、私たちは全ての人々が安全な環境で、必要な食料を手に入れることができるように尽力してきた」と同社の広報担当者は述べた。「顧客と同僚を守るために、今後も入店にはマスク着用を求めていく」

マスクなしの買い物客が再び集団で押し寄せるのを避けるため、テスコは顧客に対して、「誰かの介助や子連れの場合は例外として、買い物には一人で来て欲しい」と呼びかけている。